

【記入上の注意事項】

※この用紙は提出用ではありません。

【様式2】

学生支援緊急給付金を受けるための要件に係る誓約書

私は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する学生支援緊急給付金に申請するにあたり、次の①～⑦（留学生は①～⑤及び⑦）の申請要件について、満たしている項目を確認しました。

要件チェック項目	チェック欄(レ)	金額(年額)
① 家庭から多額の仕送りを受けていない ※1年生は家庭からの仕送り予定額、2年生以上は2019年度の仕送り年額を記載すること。	レ	① 万円
② 自宅外で生活している又は自宅生活しているが家庭から支援を受けていない	レ	② 万円
③ 生活費・学費に占めるアルバイト収入の割合が高い。 ※1年生はアルバイトでの収入予定額、2年生以上は2019年度のアルバイト収入額を記載すること。	レ	③ 万円
④ 家庭(両親)の収入減少等により家庭からの追加的支援が期待できない。	レ	④ 万円
⑤ コロナ感染症の影響でアルバイト収入(雇用調整助成金による休業補償を含む。)が大幅に減少(前月比50%以上)している。	レ	⑤ 万円
⑥ 既存制度について以下のいずれかを満たす	レ	⑥ 万円
1) 高等教育の修学支援新制度(以下「新制度」)の第I区分の受給者。	レ	必ず1つ選択してください。
2) 新制度の第II又は第III区分の受給者であって、第一種奨学金の併給が可能なる者にあつては、限度額まで利用している者又は利用を予定している者。	レ	
3) 新制度に申し込みをしている者若しくは今後利用を行う者であつて、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者。	レ	
4) 新制度の対象外であつて、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者。	レ	
5) 要件を満たさないため新制度又は第一種奨学金を利用できないが、民間等を含め申請が可能な支援制度の利用を予定している者。	レ	
⑦ 留学生等(日本語学校の生徒を含む)については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、経済的に困窮していることに加えて、以下の要件を満たすことが必要。 1) 学業成績が優秀な者であること。具体的には、前年度の成績評価係数が、2.30以上であること。 2) 1か月の出席率が8割以上であること。 3) 仕送りが平均月額90,000円以下であること(入学科・授業料等は含まない。) 4) 在日している扶養者の年収が500万円未満であること。	レ	留学生のみ ☑

「学生支援緊急給付金の申請に係る確認書」(大学指定様式)の仕送り額の内訳(授業料と生活費)の合計と同じ金額でない場合は、不備となります。

例)

<確認書>

確認事項	
仕送り額の内訳	
授業料	生活費
80 万円	+ 24 万円

<誓約書>

要件チェック項目	チェック欄(レ)	金額(年額)
① 家庭から多額の仕送りを受けていない ※1年生は家庭からの仕送り予定額、2年生以上は2019年度の仕送り年額を記載すること。	レ	104 万円

「授業料 80万円+生活費 24万円」 = 仕送り年額 104万円

- 1 チェック欄(レ)について**
要件チェック項目について、全てのチェック欄(レ)に「チェック(レ)」をしてください。
チェック漏れ又は①と③の金額(年額)欄に金額が未記入の方は、対象外となります。
※ ⑥については必ず選択してください。(留学生は不要)
※ 留学生については、①～⑤及び⑦を満たすこと。
- 2 ②について**
「自宅外で生活している」方は、アパート等の賃貸契約書の写し、直近の家賃の支払い根拠書類、住民票の写し等を提出してください。
「自宅で生活しているが家庭から支援を受けていない」方は、「学生支援緊急給付金の申請に係る確認書」(大学指定様式)の確認事項欄に必ず記入してください。
- 3 ③について**
2年生以上の場合、アルバイト収入があった方が対象となります。
1年生で、アルバイトを予定しており、得られるはずであった収入が得られなくなった場合は、対象となります。この場合、申請書「3. 申し送り事項」にそのような事情を申告してください。
- 4 ④について**
「家庭(両親のいずれか)の収入減少等により、家庭からの追加的支援が期待できない」ことについて、申請書「3. 申し送り事項」に事情を記入してください。
- 5 ⑦について(留学生のみ)**
「学生支援緊急給付金の申請に係る確認書」(大学指定書式)2ページ目の確認事項欄に必ず記入してください。
未記入の場合は、対象外となります。
※ 成績評価係数はGPAとは異なりますので「成績評価係数の算出方法」に従って正確に記入してください。